**2022年07月（第6版）
*2020年03月（第5版）
認証番号：221AFBZX00022000

歯科材料03　義歯床材料
管理医療機器　歯科汎用アクリル系レジン　70916010

マイキー プラス

【警告】
本材の液及び混和物が皮膚に接触しないこと。また、単量体（モノマー蒸気）を吸入しないこと。

【禁忌・禁止】
本材又はメタクリレート系モノマーに対して発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】
本材は下記成分より構成される。

構成品	形状	成分
粉末	粉末	メタクリル酸エステルの共重合体、着色材、その他
液	液体	メチルメタクリレート、第三級アミン、その他

原理：粉末と液を混合すると膨潤溶解後、粉末と液の各成分が反応し重合硬化する。

**【使用目的又は効果】
暫間インレー、クラウン、ブリッジ等の作製、義歯床の修理等、多目的に用いる。

【使用方法等】
1）混和法
①粉末1gに対し、液0.5mLの割り合いで、ダッペングラスに液、粉末の順で必要量を計り取ります。
②約10～15秒間、粉末と液を馴染ませるように軽く混和してください。
③混和完了、餅状になったところで、すみやかに圧接してください。
④硬化は混和完了後、約2分で始まります。それまでに全ての操作を完了させてください。
2）筆積法
①必要量の粉末と液を別々のダッペングラス等に採取します。
②筆先を液に十分浸し、縁で筆先をそろえます。
③その筆先を粉末につけて玉を作り使用します。
※筆先を良くガーゼ等で拭き取りながら行ってください。
3）フリカケ法
①少量の粉末を薄く散布します。
②散布した粉末の上に液を滴下にて浸透させます。
**③①、②の操作を繰り返し、必要に応じて混和法、筆積法を併用します。

［使用方法に関連する使用上の注意］
1）重合した義歯床は、口腔内に装着するまで水中に保存し、残留モノマーを溶出させること。
*2）本材の変質を避けるため、ダッペングラス等に小出しした余剰の粉末、液は容器に戻さず廃棄すること。
**3）陶歯を使用する場合は、適切な維持装置又は維持孔が設けられていることを確認すること。スルフォン樹脂製レジン歯を使用する場合は、維持孔の付与、レジン歯指定の接着材塗布など、各々の電子添文等に従って使用すること。

【使用上の注意】
1）使用注意
①本材が手指又は器具に付着した場合には、直ちにアルコールで拭き取ること。
②本材は可燃性なので、火気の近くで使用したり、火気の近くに置かないこと。また、テーブル、床上などにこぼした場合には、すぐに乾いた布でよく拭き取ること。
③本材の使用場所には消火装置を備えること。
④本材を使用する際には、適切な換気（1時間当たり数回の換気）がなされている場所で使用すること。
⑤他のレジン粉末、液と混用しないこと。
2）重要な基本的注意
①本材の使用により発疹、湿疹、発赤、潰瘍、腫脹、かゆみ、かぶれ、しびれ等の過敏症状が現れた患者又は術者においては、直ちに使用を中止し、専門医の診断を受けさせるか、又は受けること。
②本材に対して発疹、皮膚炎などの過敏症のある術者は、手袋などを用いて直接本材に触れないようにすること。また、本材の使用により過敏症状を起こした場合には、使用を中止し、すぐに医師の診断を受けること。本材を使用する際には必ず医療用（歯科用）手袋及び保護メガネ等を着用し、皮膚に付着させたり、目に入らないように注意すること。なお、医療用（歯科用）手袋は本材の直接的接触を防ぐが、一部の有機溶媒・モノマーが短時間のうちに浸透することが知られているので液及び液混和物が付着した場合には、直ちに手袋を捨て、石鹸を使用して流水で洗浄すること。
③本材が、万一目に入った場合には、すぐに多量の流水で洗浄し、眼科医の診断を受けること。
3）不具合・有害事象
本材の使用に伴い、発赤、びらん、水疱、浮腫などの過敏症状が発生することがあります。

【保管方法及び有効期間等】
［保管方法］
・本材は、高温、多湿、直射日光を避けて、火気厳禁の室温で保管すること。また、１つの保管庫に大量に保管しないこと。
・保管場所には、消火器具を備えること。
・本材は、歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

［使用期限］
本体に記載の使用期限までに使用すること。
〔記載の使用期限は、自己認証（当社データ）による。〕
記載方法：⌛0000－00は
使用期限 0000年00月を示す

**【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】
製造販売元：株式会社ニッシン
住所　　：〒621-0001
　　：京都府亀岡市旭町樋ノ口88
ホームページ：www.nissin-dental.jp